

20京都国民春闘討論集会

とき 12月7日(土)・8日(日)

ところ 亀岡湯の花温泉「烟河(けぶりかわ)」

京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第237号

発行所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都5階
京都地方労働組合総評議会(京都総評)
電話 075(801)2308 FAX 075(812)4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
<発行責任者> 梶川 憲 <編集責任者> 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

出馬表明 福山和人さんが京都市長選へ



2020年2月投票



立候補の決意を語る福山弁護士

多くの市民といっしょに

来年1月19日告示、2月2日投票の京都市長選挙に、弁護士福山和人さんが11日、記者会見を行いました。立候補を表明しました。記者会見は、「こんな京都にしたいなあ市民の会」に参加する市民の方や民主市政の会の参加団体など、70人が参加。「会」を代表

市民自らが政策を実現できる市政をつくりあげたい

福山さんは、知事選挙に再挑戦してほしいという声を何度も聞いたことに触れ、「普通の市民が政治をつくるという理念を京都市で実現できれば、京都府全体を養える大きな力をつくることになる」「京都市以外のみなさまには、わがままをお許しいただき、お力添えをいただければと願っています」と思いを語りました。

福山さんは、「政令市である京都市が果たす役割には大きなものがある。京都市民でいてよかったですと実感してもらえる市政実現へ全



京都市への要請行動

京都市役所前と京都府庁東門前で早朝宣伝を行い、68人が参加しました。京都市への要請行動では、京都市要請の参加者から各団体から集まった個人請願書を「誰もが安心して暮らせる京都市政を」と要求伝えて手渡しました。代表による要請行動では、「すべての中学校で、全員制の安全で温かい給食の実施を」「介護保険認定給付業務の集約・民間委託、嘱託員1300人の雇止め方針は撤回せよ」「介護など福祉労働者の処遇改善へ京都市独自の施策を実施すべき」など重点項目を中心に要請しました。

昼休みの時間帯に、120人が参加して市役所包囲デモを行い、京都市長選挙を視野に、「市民犠牲の行政リスト」である『京プラン』実施の即刻中止、「敬老乗車証制度の改善ストップ」「ワーキングプアの解消」「子育て支援・子どもの貧困対策の強化」「公的介護保障の実現」「国保料の引き下げ」などを唱和して市民にアピールしました。午後は、京都府に対する個人請願行動と代表による要請を行いました。京都市・京都府を住民のいのちと暮らしを守る姿勢に立ちきらせるために、引き続き運動を強めていこうと決意を述べました。

(F1)



要求を市民にアピール！市役所包囲デモ(府市民総行動で)

8時間働けば、まともな暮らしを！ 秋季年末闘争勝利へ 公務・民間力あわせて

公務員賃金確定闘争のヤマ場、民間の年末一時金要求に対する回答・交渉など、11月は秋季年末闘争の大事な局面です。

京都総評は、11月8日にラボール京都ホールで「秋季年末闘争勝利！労働者総決起集会」を行い、単産・地域から126人が参加。公務・民間力を合わせて、要求実現へ粘り強くたたかう決意を固めました。

10月31日には、「秋の府市民総行動」が行われ、京都市・京都府に対する宣伝、個人請願、代表による要請行動が展開されました。

11・8 秋季年末闘争勝利！労働者総決起集会

切実な要求かかげ、秋季年末闘争勝利へ

秋季年末闘争のヤマ場、集会を開催しました。梶川議長が開会あいさつを行いました。11月8日に「労働者総決起集会」川議長が開会あいさつを行いました。

い、そのあと全労連の黒澤幸一事務局長が、「全国一律最低賃金をめぐる最新情勢」と題して講演しました。黒澤さんは、京都も含めてこの間取り組まれてきた最低生計費試算調査の結果をもとに、「ふつうに暮らすためには時間額1500円必要で、それは全国どこでも同じ」「だからこそ全国一律最低賃金がどうしても必要」「全国一律化と最賃1500円を実現すれば、①貧困と格差は正への一歩、②地域経済の活性化ははかれる、③誰でもどこでも同じ賃金を受けられるペースができる」と訴えました。

秋の府市民総行動

「いのちと暮らし、雇用と営業を守る」京都市・京都府を

10月31日、2019年秋の府市民総行動に取り組みました。

そして最低賃金運動は、①貧困と格差をなくす人権運動、②地域経済の再生、③労働運動再生の象徴的たたかいという3つの意義があるたたかいだと強調し、来春に全国一律最低賃金制度実現へ奮闘しようと呼びかけました。化学一般とJMITUから年末一時金闘争勝利への決意、京教組から教員への年間変形労働時間導入阻止のたたかいの決意、パートネットから非正規労働者の待遇改善へのたたかう決意を力強く語りました。

労働者総決起集会



「雇止めは許せない」と訴える嘱託員の仲間たち

集会は、公務・民間力あわせて、要求実現へ全力をあげる決意を固めあう熱気あふれる集会となりました。

「ほんとうにすごい高校生がいるものやなあ」と感心していました。でも、日本でも素晴らしい活動をしている高校生たちがいて、注目が集まっています。「大学入学共通テストから学生を守る会」に結集してがんばっている高校生のみならず、救済文部科学大臣の「身の丈」発言で、急に世間の注目を集めた英語民間試験導入は延期となりましたが、再来年から国語と数学も「記述式」試験を導入し、その採点を民間企業に丸投げするという問題に、反対の声をあげた高校生たちです。ツイッターで情報や自分たちの思いを広めながら、インターネット上で署名を集め、2週間足らずで4万2000人分の署名を集約して、文部科学省に提出したとのこと。国語の記述式試験の採点はベネッセコーポレーションの子会社が6億円あまりで請け負い、採点には学生アルバイトもあたることを認めています。「こんな制度は認められない」と声を上げた高校生たち。私たち中年？初老？の運動家も若者に負けないように？この秋運動を広げて行かなくてはと思います。

TUBUYAKI

先日行われた国連気候変動サミットで、スウェーデンの高校生がレタ・トゥンベリさんの活躍が大きく報道されました。

生かそう憲法! 守ろう9条!



日本国憲法公布から11月3日で73年となるのを前に、安倍改憲を阻止しようと、「憲法集会in京都」が11月2日、円山音楽堂で開かれました。集会後には、京都市役所前まで憲法ウォークを行い、市民や観光客に「憲法を守ろう」「9条改憲許すな」とアピールしました。

11月10日は、京丹後で「いらんちゃー! フェスタ2019」が行われ、集会後にデモを行い「米軍基地はいらない!」とアピールしました。改憲発議を許さず、憲法を守り、生かす社会をめざして、3000万署名を軸に運動を広げましょう。

許すな! 国会発議 安倍改憲を阻止しよう

11・2憲法集会in京都

11月2日に行われた、「生かそう憲法 守ろう9条 11・2憲法集会in京都」に1700人の市民・労働者が参加しました。

集会では、日本共産党、社民党、新社会党、緑の党の代表があいさつし、立憲民主党、国民民主党がメッセージを寄せました。憲法9条京都の会世話人の小笠原伸児弁護士が、「安倍9条改憲に決着を!」と題して講演しました。

松元ヒロさん(コメディアン)のソロライブでは、安倍政権を風刺とユーモアで批判し、会場は大盛りの上

がりでした。一人芝居「憲法くん」も披露。「時代に合わないのは憲法ではない。憲法に合わない政治こそ変えればよい」とのセリフが印象的でした。

集会後、憲法ウォークとして京都市役所前までパレードを行い、市民や観光客に「9条守ろう」「改憲許すな」「いのちが大事」とアピールしました。

住民の安全・安心は 米軍基地撤去でこそ

いらんちゃー! フェスタ2019

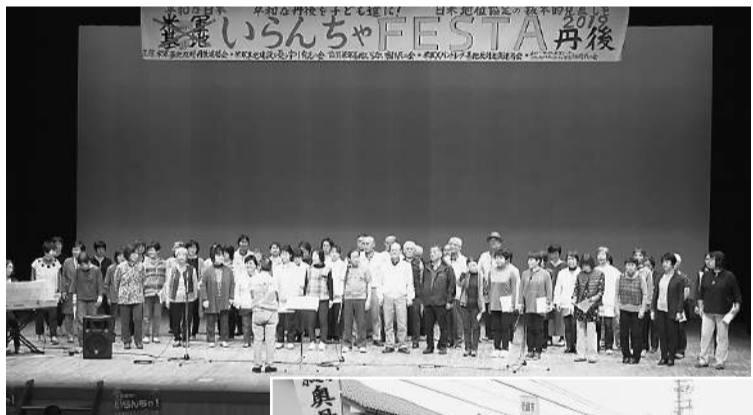
今年で6回目となる「米軍基地いらんちゃー! フェスタ2019」が丹後文化会館で開催されました。天気にも恵まれ、昨年を上回る700人の参加者が集う

集会となりました。オープニングは「うたごえ有志のみなさん」による迫力のある合唱から始まり、集会参加者から「こういうパフォーマンスをこれから

も継続してほしい」といった声が出ていました。主催者を代表して米軍基地反対丹後連絡会の増田光夫副代表が「安倍政権を倒

すことは、心ある日本人の悲願。共同の力をいっそう大きくすることを確認しあおう」とあいさつ。その後、宇川有志の会事務局長の永井友昭さんより最新の現地報告がされました。報告では、「三角地ゲート問

その後、各政党からあいさつがあり、日米地位協定の見直しに力を注ぐという話が相次ぎました。集会のあと、元気よんシユプレヒコールをしながら、峰山町内周回パレードで市民にアピールしました。



▲舞台いっぱい! うたごえの仲間たち デモでアピール



無視の暴挙をばかりに住民 度々をくりかえしている。さらには米軍基地稼働から3年を経て「開店バーゲン」は終わったとばかりに住民

介護職員の処遇向上と仲間を増やそう!

「ケアユニオンきょうと」結成

介護職員の処遇改善と利用者の権利確立をめざして、労働組合の協議会である「ケアユニオンきょうと」の結成総会が10月25日に開催されました。

3年前から関係する労働組合が集まり、6回の学習会を重ねるなど粘り強い取り組みを続け、結成を迎えました。介護職場で働く職員の声を集め、労働条件改善と仲間づくりを目的に労働組合の枠をこえた協議会がスタートしました。



「ケアユニオンきょうと」に集まった仲間たち

総会では、「介護職員が働き続けられるために」とのテーマで大塚健康福祉短期大学の鴻上圭太教授が講演。その後の交流では、「他の組合と交流できるのいいと思う」「小さい組合なのでケアユニオンを心強く思う」「今日を機に広

がりができる期待を感じる」など、「ケアユニオンきょうと」に対する期待の声が出されました。今後の取り組みが期待されます。

わたしのオスマ

ハンセン病児問題史研究 一國に隔離された子ら

谷本 樹保

自分と違う考え、育ちをした人などを「排除」することが、昨今の社会的な流れになっていいます。社会としては、「違いを強調すること」「排除」が、打ち出の小槌のような役割を果たしている気がします。日本では、ハンセン病の人たちをどのように扱ってきたか。障害者福祉の仕事

をしてきた私にとって、看過できない問題です。療養所の子どものたちの見、人格権を含む権利侵害

生活と教育はどのような実態にあったのか、どのように感じ、生活してきたのかなど、何度も療養所に足を運んで、ハンセン病者の声を聴き、実態を解明しています。国策による隔離や差別・偏見、人格権を含む権利侵害に



京都労働相談センター結成20周年迎える

働く人が気軽に相談できる 窓口として、さらに発展を

20年の思いを込めた祝賀会に、京都支部幹事長・小笠原伸児弁護士から采霞あいさつを戴き乾杯。スピーチでは相談員O B阪田正博さんが授業で事例紹介して、「センターの存在を覚えておきます」と語った女子高生の紹介など、未来につながるものとなりました。

10月26日午後6時よりホテル・ルビノ京都堀川において、京都労働相談センター結成20周年記念祝賀会が開かれました。

加盟労組や友誼団体、政党、近畿各府県の相談センター、労働相談から労働争議をたたく仲間や自主経営会社を起した仲間などの参加で、「20年」の思いを込めたものとなりました。

香川裕一・運営委員長の主催者あいさつ、京都総評・梶川憲議長、自由法曹団



書名・ハンセン病児問題史研究一國に隔離された子ら
出版社・新日本出版社
著者・清水 寛
定価・6500円+税